

印西市立図書館サービス計画（案）
市民意見公募手続き（パブリックコメント）の結果

件 名	印西市立図書館サービス計画（案）		
募集期間	令和6年1月5日（金）～令和6年1月18日（木）		
意見の提出	36件（12名）		
意見の取り扱い	修正	案を修正するもの	10件
	既記載	既に案に盛り込んでいるもの	2件
	その他	案には反映できないが意見として伺ったもの	24件

NO.	該当 ページ	意見の概要	対応
1	P1	「2計画の位置づけ」の、「連携・整合を図るもの」に、他課との連携、他プランとの連携を入れてほしいです。 印西市障がい者プラン(印西市第4次障害者基本計画・第6期障害福祉計画2021(令和3)年度～2023(令和5)年度)では、「取組2情報バリアフリーの推進」の「(2)市立図書館の障がいに対応する資料の充実とそれにアクセスするための体制づくり」で、「引き続き備品の貸出や資料の提供を行います。今後はこれらに加え、非来館型サービスとして電子書籍による情報提供を行います。」となっていますが、この年度更新される「障がい者プラン」(2024年に更新予定)と連携して、図書館における障がい者サービスを拡充して行ってほしいと思います。 障がいのある人が、教育課程以外で暮らしに関わる様々な情報と、暮らしに還元したり新たな知識を積み上げる基としたりするための幅広い情報にアクセスするためには、公共図書館がその役割を担うと考えるためです。また、2019(令和元)年施行の読書バリアフリー法(視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律)も、読書に困難のある人びとも等しく文字活字文化の恵沢を享受することができる社会の実現を求めています。	<u>意見の取り扱い：【その他】</u> 多様な市民に対応するため、他課、他のプランと連携することが必要と認識しております。 図書館サービスの充実を図るための貴重なご意見として賜ります。
2	P1	第1章の計画策定の趣旨に平成23年度から行われている「印西市立図書館サービス評価指標」(サービス評価指標)について触れられていますが、図書館サービス計画が策定された後のサービス評価指標の取り組みは継続して行われるのでしょうか。	<u>意見の取り扱い：【その他】</u> 「サービス評価指標」は継続して行います。
3	P2	「計画の策定体制」にある市民からの意見収集は、アンケートやパブリックコメントだけでなく、ワークショップなどを取り入れてより具体的な意見交換の場づくりが必要と思います。	<u>意見の取り扱い：【その他】</u> 図書館サービスの充実を図るための貴重なご意見として賜ります。
4	P5	「千葉県公立図書館の現状」分析で、「印西市は貸出が比較的活発」とのコメントがありますが、蔵書数は平均以上でも図書費は平均以下である現状には触れていません。市民は新しい本を手にする機会に恵まれないまま、古い本を何度も利用しているという現状です。この分析も明記した上で、早急に対策を講じることが求められています。	<u>意見の取り扱い：【その他】</u> 図書館サービスの充実を図るための貴重なご意見として賜ります。

5	P8	「人気図書のジャンル」表にあるジャンルの分類は、日本十進分類法に基づくものと印西市独自のジャンル分けが混在していてわかりにくいです。	<u>意見の取り扱い：【その他】</u> 図書館サービスの充実を図るための貴重なご意見として賜ります。
6	P22 ～ P29	「3 図書館サービスに関する市民意識調査結果」の概要で、「～が多くなっている」や「※最多回答の他、全体と比較し10%以上高いものを抜粋」などになっていますが、図書館に求められることは単純に数の多寡で需要が測られるわけではなく、図書館の理念(P 3 2の基本理念にも)に従い少数意見も重要な参考意見として取り扱われるようにしてほしいと思います。 その他の意見としてこういうものもあった、という列举の記載があると、少数意見が切り捨てられているわけではないなと安心できます。	<u>意見の取り扱い：【その他】</u> 図書館サービスの充実を図るための貴重なご意見として賜ります。
7	P30	「課題の整理」の「印西市の上位関連計画からの市立図書館の課題」を、「印西市の関連計画からの市立図書館の課題」にしてほしいです。そして、「●多様な市民の生涯学習の拠点としての役割がある。」を加えてほしいです。 「障がい者プラン」や、「高齢者福祉計画」の「高齢者が健康で生きがいを持って活躍する社会の実現」など、図書館が連携をとって行い得る施策・事業の計画があると思います。 生涯学習については教育基本法での生涯学習の理念の明記のほか、令和2年1月には文部科学省の「障害者活躍推進プラン」の発表があり、社会的にも障がいのある人の生涯学習の機会拡充が望まれている状況です。 図書館の多様な資料に障がいを持っていてもアクセスできれば、また、障がいを持っていても使用できる資料が増え、情報が提供されれば、障がい者の生涯学習の機会拡充という課題に対して図書館が行えることは大きいと考えます。P 3 2の「2 基本理念」の「5. 市民のくらしに生き、市民の生涯学習の拠点となり、地域の課題を解決できる図書館」にも連動するため、上記の文章を加えてほしいです。	<u>意見の取り扱い：【修正】</u> 「印西市の関連計画からの市立図書館の課題」については、ご意見をもとに見直しいたします。 「・多様な市民の生涯学習の拠点としての役割がある。」については、貴重なご意見として賜ります。
8	P36	「第3章 目指す市民図書館の姿(P 3 6) [現状と課題]」の中で「図書資料購入冊数が年々減少しています。増加する人口に対して資料購入費が少ないことから市民の多様な資料請求に応えられていないことが課題です」とあります。その課題を克服するべくサービス計画が策定されているのかと思っていました。	<u>意見の取り扱い：【その他】</u> 本計画は、資料購入費の確保を含め、図書館サービス全般に係る計画であることをご理解いただきたいと思います。 図書館サービスの充実を図るための貴重なご意見として賜ります。

9	P43	「(3) 情報提供及び利用者促進●現状と課題」に「○図書館では広報活動として、ホームページや広報いんざい、「としよかんつうしん」を年6回発行し、図書館の利用案内を行っています。」となっていますが、これですと広報いんざいを図書館が発行しているように読めるため、「○図書館では広報活動として、図書館ホームページのアップや広報いんざいへの情報提供のほか、「としよかんつうしん」を年6回発行し、図書館の利用案内を行っています。」などとした方がよいのではないかと思います。	<u>意見の取り扱い：【修正】</u> ご意見をもとに見直しいたします。
10	P45～	「多様な利用者に対応した図書館サービス」の中の詳細な内容に「読書バリアフリー」の文言がありますが、これは大きくタイトルに入れて今後10年間の印西市の取組みの柱としてほしいです。	<u>意見の取り扱い：【その他】</u> 図書館サービスの充実を図るための貴重なご意見として賜ります。
11	P47	「主な取組名称 環境の整備及び資料の収集・充実」の「今後取り組むこと」に、「デイジー図書の貸出窓口としての体制を整備します。」を入れてほしいです。千葉県では、県立図書館3館体制を見直し、新しい県立図書館1館に資料と人的資産を集約する計画が発表されています。印西市に比較的近い松戸の県立西部図書館の今後はまだ未定とのことです。デイジー図書の貸出など障がい者向けサービスを行っていたこの館でのサービスの終了により、地域の図書館の障がい者サービスの質が落ちないように支える必要があるためです。	<u>意見の取り扱い：【その他】</u> 図書館サービスの充実を図るための貴重なご意見として賜ります。
12	P50	「主な取組名称 電子書籍の充実」の「今後取り組むこと・子どもから大人まで幅広い世代に認知・利用してもらえよう、各世代のニーズにあった電子書籍を収集し提供します。」を「今後取り組むこと・子どもから大人まで幅広い世代、また視覚障がいなど書籍について視覚による表現の認識が困難な方にも認知・利用してもらえよう、多様な市民のニーズにあった電子書籍を収集し提供します。」にすると、読書バリアフリー法にも対応した文章になるのではないかと思います。	<u>意見の取り扱い：【修正】</u> ご意見をもとに見直しいたします。

13	P50	[主な取組名称 利用の拡充]の「今後取り組むこと・ホームページなどで電子図書館の周知を図り、認知度の向上と利用促進を図ります。・電子雑誌等、図書に限らない資料の導入と提供を検討します。・音楽配信等、文字媒体に限らない資料の導入と提供を検討します。」に、「・「印西市電子図書館」の利用法を障がいを持った方などだれにとっても分かりやすく説明し、必要に応じて館内で利用講習会などを行います。」と「・福祉関連課や福祉関連機関等とも連携した周知を行います。」を入れてほしいです。 読書バリアフリー法にも対応した文章になると思います。	<u>意見の取り扱い：【その他】</u> 図書館サービスの充実を図るための貴重なご意見として賜ります。
14	P59	基本方針2 子どもたちの未来を育み可能性を広げる図書館 2子どもの読書活動の推進(1)読書活動を深める機会の提供●現状と課題○ブックスタート事業として云々のあと、▶読み聞かせ云々の最後「実状を把握する必要があるます」とありますが、それでは何をするかわからないので、少なくとも「実状を把握します」又は「図書館職員の読み聞かせ等の派遣をします」としてください。	<u>意見の取り扱い：【その他】</u> 図書館サービスの充実を図るための貴重なご意見として賜ります。
15	P68	「主な取組名称 新規施設の整備検討」の「取組の内容・人口の変化及び年齢構成に対応した図書館サービスを提供できるよう新規施設の整備の検討を行います。」 「今後取り組むこと・印西市公共施設整備基本方針に基づき、適切に図書館サービスを提供できるよう、施設の統廃合、集約化、複合化を含めた新規施設の整備を検討します。」の「統廃合」「集約化」について、人口が少なくなった地域の図書館が閉館になるのではないかと不安を感じます。来館して受ける図書館サービスに人口の多寡で差がついては困ります。 現在の6館体制は維持しつつサービスを拡充してほしいです。 「今後取り組むこと・印西市公共施設整備基本方針に基づき、適切に図書館サービスを提供できるよう、新規施設の整備を検討します。」にしてほしいです。	<u>意見の取り扱い：【その他】</u> 図書館サービスの充実を図るための貴重なご意見として賜ります。
16	P69	P69「利用者ニーズに応じた図書館の開館時間」において、仮に19時までの開館を拡大する可能性があるとは受け取りました。大変、喜ばしいことですが、新たな課題がでます。これに対し、私は以下の提案をいたします。 ・学童クラブとの協力 現在、印西市では37ヶ所で学童クラブが開催されております。また、印西市へ子育て世代流入により、そうふけ図書館、小倉台図書館地区の年初人口が今後、増加することが見込まれます。このため、本地区周辺には既存学童クラブの拡充または新設が必要になる可能性が考えられます。そこで、私は図書館施設を利用した学童クラブ開催を提案いたします。	<u>意見の取り扱い：【その他】</u> 図書館サービスの充実を図るための貴重なご意見として賜ります。

		既存の学童クラブへ場を提供することにより、年少者に読書への関心を高めることができると考えます。	
17	P69	・自動貸出返却装置の導入 現在、多くのスーパー、コンビニでセルフレジが導入され、利用者も増加しております。セルフレジに関しては、コロナ禍もあり、若い世代では対面より好まれる一方、高齢者がついていけていません。生産年齢人口が減少していく日本においては、自動化は必須であり、今後数十年の内に多くのことが自動化していくと思います。しかしながら、比較的若い50代、60代においても自動化についていけない節がございます。それでは、高齢者を見捨てDXを進めていくか、DXを諦め衰退へ突き進んでいくかの2択になってしまいます。 そこで、私は図書館に自動貸出返却装置を導入し、高齢者の方に自動化装置に慣れてもらう第一歩となると考えます。また、本装置の導入は職員がよりコミュニティに寄与する活動の時間を捻出することに繋がります。さらに、本装置の利用者が9割を超えた暁には、貸し出しにおいてスタッフ不要となるため、貸出時間を日中に縛る必要がなくなり、夕方～早朝間の開館も可能となります（別途、セキュリティを考える必要がございます）。	意見の取り扱い：【既掲載】 「自動貸出返却装置の導入」につきましては計画案p38「主な取組」「資料の貸出しの利便性の向上」「今後取り組むこと」に記載いたしております。
18	P70	基本方針4 住みよさを実感できる図書館 2 専門職の充実と育成（1）継続的な司書の確保及び職員配置●主な取組 取組の内容「司書資格を有する職員の確保に努めます。」は「司書資格を有する職員を確保する。」として下さい。 図書館が6館ある中で、正規司書職員を全館に配置できていない（P70）ことは、事業を十分行うこと・その相談をすること・会議をすること・研修をして能力を高めること、6館で協力し合うこと等、図書館サービスを充実させられない原因となります。又、この図書館サービス計画（案）が完了する10年後に計画をチェックし、又新たな目標に向かって行くために、経過5年後のチェックが大切です。その中間評価の時、まだギリギリ残っている現在の職員が次を荷負う司書職員と共に責任を持ってチェックする必要があります。この図書館サービスをきちんと実行するために、そして次へ継続して行くために、今から「司書資格を有する職員を確保」しておかなければならないと思います。	意見の取り扱い：【その他】 図書館サービスの充実を図るための貴重なご意見として賜ります。
19	P72	「I サービス計画評価の指標」の表に、「基本方針3、行政機関等との共催事業の実施」が入っていないので入れて欲しいです。また、新サービスの開始や図書館サービスの周知がよく行われて図書館に対する期待が高まる反応力があつたかを知るために、貸出カードの新規発行(更新含め)点数も年度の評価に入れたほうがよいのではないかと思います。	意見の取り扱い：【その他】 図書館サービスの充実を図るための貴重なご意見として賜ります。

		全体的に令和１５年度の目標値が低く感じます。児童対象事業数が２事業増えるだけでは足りないと感じます。 また、図書館サービスの評価は数値にして表せるものだけでは測りきることができないため、各事業に「今回の図書館サービスに関するアンケート」などを取り、感想を集めて評価として取り扱い、次期計画策定に反映してほしいです。 最後に、今回の「印西市立図書館サービス計画(案)」について、「市民意見公募手続実施要領」の「８．意見の取扱い」の「(３)提出された意見等については、その概要とそれに対する市の考え方を、ホームページにおいて公表するものとする。なお、氏名等の個人情報は公表しない。」という文章ですが、概要をだれがどのような基準でまとめるかなどが不明です。少数意見が切り捨てられたり、意見の趣旨が違って受け取られたりする不安がぬぐえません。 「(３)提出された意見等とそれに対する市の考え方を、ホームページにおいて公表するものとする。なお、氏名等の個人情報は公表しない。」とするのが適切なのではないかと思います。	
20	P72	「第５章 計画の推進に向けて（Ｐ７２）」〔サービス計画評価の指標〕を拝見しました。１０年間の指標であり課題も認識している中で、まず全ての目標値があまりにも低いことに驚きました。図書館のレベルは「人」と「資料」で決まると言われています。開館から年数が経ち傷んだ本も目立ちます。蔵書の保管場所の確保も大切ですが古くなった本は廃棄して新しく購入されてはいかがですか。日焼けした本や補修した絵本ばかりでは子ども達も手に取るのが楽しくないはずです。もちろん大人も。市民の為の施設として、市民ニーズの増加や多様化に応えサービスの充実を図るという目標を掲げているとは、残念ながら受け取るのは難しい指標です。「資料」以外にも、「人」として、図書館の能力や本の魅力について発信する創意工夫を盛り込んで頂きたいと思います。	<u>意見の取り扱い：【その他】</u> 図書館サービスの充実を図るための貴重なご意見として賜ります。
21	P72	計画遂行のための確な目標値を定めることが重要だと思いますが、「第５章」でサービス計画評価の指標として具体的に数値化されているのが一部だけであることに疑問を感じます。「第４章」で現状と課題がまとめられている全ての項目に対して、令和１０年度の間評価値と令和１５年度の目標値が記入されるべきではないでしょうか。また、これからますます人口増加が見込まれているのですから全体的にもっと高い目標設定を望みます。	<u>意見の取り扱い：【修正】</u> ご意見をもとに見直しいたします。

22	P72	第5章1「サービス計画評価の指標」として、「図書館サービス全体の指標を設置し、毎年状況を調査、確認」とあります。これらの指標は上記サービス評価指標にある指標です。サービス評価指標では8区分25項目の評価指標がありますが、本案では11項目の指標となっています。図書館サービス全体の指標としてこの11項目を選んだ理由を教えてください。また市内登録者数が今回指標から抜けているのはなぜですか？市内登録者数はサービス評価指標によれば第1次基本計画で登録率31%の目標とあります。第1次基本計画策定時点での印西市の想定人口を現時点で既に上回っている状況を見れば、人口の3割の登録者を目標とする指標は明確です。ぜひ今回の指標にも追加してください。	<u>意見の取り扱い：【修正】</u> 市内登録者数については、ご意見をもとに見直しいたします。
23	P72	第5章の巻頭文では「司書資格を有する正規職員の確保に努める」といったあいまいな表現となっています。近年、司書資格を有する正規職員が減っているにもかかわらず補充がされていない現状にもっと危機感をもち、人口規模に見合った正規司書職員の確保に最優先で取り組む旨の文言に改めるべきではないでしょうか。	<u>意見の取り扱い：【その他】</u> 図書館サービスの充実を図るための貴重なご意見として賜ります。
24	P72	第5章2「計画の進行管理」について、非営利の公共図書館において指標の設定は業務やサービス内容の質が適切に保たれているかを測る目安でもあります。目標値の達成が目的化してしまい質の低下を招くといったことがおきないように各取組と指標の検証を毎年行うとのことなので、検証結果を市民に向けても情報開示してください。	<u>意見の取り扱い：【既掲載】</u> 計画案p72「2計画の進行管理」にあるように図書館協議会での第三者評価を受けて、市民に向けて情報開示する予定です。
25	P72	サービス計画の内容は、図書館が利用者に向けてのサービスとしてはどれも当然のものと考えますが、どのサービスも現状より質のレベルアップが望ましいと考えます。しかしながら、印西市の司書職の職員の数が6人ということを見ると質の向上したすべての計画を遂行していくにはマンパワーが不足の観点より無理があると危惧致します。サービスの質の向上を目指すのであれば是非専門職員の増員が不可欠です。この計画が評価される10年後を見据えた人員確保が必要と認識いたします。	<u>意見の取り扱い：【その他】</u> 図書館サービスの充実を図るための貴重なご意見として賜ります。
26	P72	p72の指標についてですがサービス評価指標令和2年が新刊の受け入れ数15,000冊、10年後の目標値も15,000冊で同数であることはペーパーレス化が進歩するにしてもいかがでしょうか？印西市の人口を考えればもっと多くの目標を持つべきだと思います。	<u>意見の取り扱い：【修正】</u> ご意見をもとに見直しいたします。

27	P72	児童対象事業数も38事業が10年後に40事業という目標値も低すぎます。市内の図書館7館で1つの図書館で年間5～6事業の計算です。印西市のたくさんの子もたちを本好きな子どもに育てていくために職員は研修して目新しい事業を行うべきだと考えます。	<u>意見の取り扱い：【その他】</u> 図書館サービスの充実を図るための貴重なご意見として賜ります。
28	P72	年度ごとの点検、評価をすることは当然の作業ですが、3年後、5年後（中間評価）など世の中の変化にあわせて柔軟に対応するため、職員のモチベーションや目的意識も高めるためにも区切りの評価も加えるべきではないでしょうか？将来、知の拠点となりえる図書館を目指し改革していくことを期待しております。	<u>意見の取り扱い：【その他】</u> 図書館サービスの充実を図るための貴重なご意見として賜ります。
29	P72	「サービス計画評価の指標」数値の根拠がわかりませんが、10年間の計画にしては目標値が低すぎる感があります。過去の計画・評価を参照し見直して、根拠ある数値、積極的かつ意欲的な目標の設定をお願いします。	<u>意見の取り扱い：【修正】</u> ご意見をもとに見直しいたします。
30	P72	「第5章 計画の推進に向けて」にあるように、図書館サービス計画を進めていく基盤として、財源の確保がまずなされなければいけないと思います。ですからここも「財源の確保及び」ではなく「財源を確保し」として下さい。	<u>意見の取り扱い：【その他】</u> 図書館サービスの充実を図るための貴重なご意見として賜ります。
31	P72	「1 サービス計画評価指標」は人口11万人の市としては数値が低いと思います。基準の沿った数値を参考にして決めるべきだと思います。	<u>意見の取り扱い：【修正】</u> ご意見をもとに見直しいたします。
32	P72	「第5章計画の推進に向けて」の目標値が低いと思います。令和10年にも中間評価として目標値を入れる事だとは思いますが、はっきりした目標値を設定しないと達成状況の見直しができないと考えます。人口が増えていく印西市において目標値があまりにも低いと思います。 「第4期印西市立図書館サービス評価指標」令和2年の図書資料受け入れ点数目標の15,000点/年と、今回のサービス計画の目標値令和15年度の目標値が同じです。	<u>意見の取り扱い：【修正】</u> ご意見をもとに見直しいたします。
33	P72	最後のページ「第5章の計画の推進に向けて」「児童対象事業数」が10年間で2事業増えているだけです。目標値が低すぎます。 この(第5章)ページの中には第4章基本方針の実現に向けた図書館サービス計画に対しての全ての内容が数値で示され令和10年度の中間評価、令和15年度の目標値も記入されるべきだと思います。 是非、前向きな目標をお願いします。	<u>意見の取り扱い：【その他】</u> 図書館サービスの充実を図るための貴重なご意見として賜ります。

34	P72	印西市の図書館は県内２５位、約２千万円。その推移は示されておりませんが、平均を大きく下回るとされています。それでいて貸出冊数が多いというのはどう分析すればいいのでしょうか。 ５章において、受入点数を約１．５倍にするとされていますが、県内平均に近づけるということでしょうか。近隣市に較べれば２～３倍に増やすべきではないでしょうか。（受入点数≒図書館購入数と考えた場合です。）	<u>意見の取り扱い：【修正】</u> ご意見をもとに見直しいたします。
35	全体	公立図書館は、単に本の貸し出しを無料で行うだけの施設ではない。（現状の印西市立図書館のサービスではそう感じる人も多いのかもしれないが・・・）図書館ほど老若男女を問わず、広く市民が気軽に訪れやすい施設公共施設は他にはない。そこには、市民の“知りたい”欲求を満たす本、生活の役に立つ本、情報や癒しを得る新聞雑誌や視聴覚アイテムなど、市民の生活に寄り添うものが整えられ、居心地のいい空間に、それらと市民を仲介する専門職の図書館員が居て、市民が集うイベントなども企画、用意されている。という本来の図書館のあるべき姿を目指す「サービス計画」でなくてはいけない。この「サービス計画」を読んで、受ける最初の印象は、“他人事な感じ”である。当事者である図書館行政の方々の手によって作られたものか？と疑問に思うくらいである。「サービス計画」は、今後１０年を見据えた施策の基盤になるものであるが、それを実現していくために、毎年の具体的な計画、適格な人員の配置と補強、十分な予算の確保を確実に遂行してほしい。 人口増で財政豊かな印西市の繁栄が続くためにも、市民がずっと住み続けたいと思いつけるためにも、図書館という貴重な公共施設を適切に扱っていただきたいと、強く願う。	<u>意見の取り扱い：【その他】</u> 図書館サービスの充実を図るための貴重なご意見として賜ります。

36	全体	予算が圧倒的に不足しています。文庫活動に参加しており、団体貸し出し等で図書館にはお世話になっています。印西市は、図書館費が一般会計の0.66%、図書館資料購入費は、0.05%にも届きません。活動柄絵本、児童書に接する機会が多いのですが、他の図書館に比して、複本数が少なく、経年劣化した本が目につきます。背表紙の書名がテープに印字され、表紙の絵が分断された本を読み聞かせすることがあります。図書館資料受入点数に経年劣化した本の更新も是非組み入れてほしいと思います。 ★PDCAで、Cの掘り下げが浅いと思います。 計画し、実行して得た課題の要因が究明されていません。予算不足なのか、職員数不足なのか、スキル不足なのか、計画内容に問題があるのか等をしっかりと分析しないと、次のAに進むことができないと思います。 ★図書館の役割には、表に出ない大切な多くの作業があることは承知しています。図書館は文化のバロメーター」といわれます。人口11万人を超えた印西市の規模に合った予算(一般会計の1%)と、十分な数の司書が確保され、スキルアップを図るための研修が継続して実施されたら、今回の「印西市立図書館サービス計画」に掲げられた「つながる図書館」の実現に一步近づくことができると思います。	<u>意見の取り扱い：【その他】</u> 図書館サービスの充実を図るための貴重なご意見として賜ります。
----	----	---	---